

# 校長室だより

2月号

## ☆子どもは風の子

今年はや暖冬という気象庁の予報は当たっており、学校の校庭でも氷が張ったり、霜が降りたりしている日はわずかです。しかし、今週は寒い日が続いており、時々霜が降りています。子どもたちはそんな時、見つけた氷を宝物のように見せに来ます。続けて、何かいいものはないかと探しています。また、とても寒くても校庭で遊んでいる児童は多いです。子どもは風の子と昔からいられていましたけれど、ほんとうにそのような子どもたちだなあと感心しています。



## ☆運動場の様子について

運動場の周りの低木を切っています。ある程度切ったことで、風通しがよくなったことと、水はけもよくなったと思います。霜が降りる場所は、芝や雑草が生えている部分や水分を多く含んだところであり、早朝学校に来た時に、グラウンドを見ると白くなっている部分が少なくなっています。ほんとうに少しずつですがさらに改善しています。あと、トラックの中央部分が低くなっていることで雨が降ると必ず水が溜まっております。ここへ年度末に、真砂土を入れ整備する予定です。今年度末の真砂土の投入で、量的に足りるものではないと思いますが、少しずつできることを行っていこうと思っています。

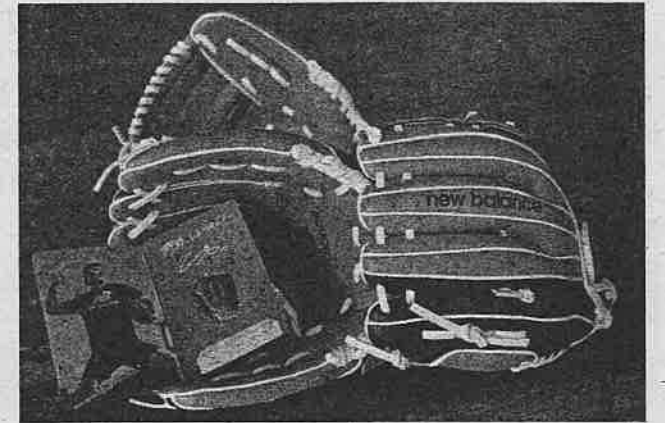


## ☆教室から見えるムササビの巣箱について

教室から見えるムササビの巣の前にセンサーカメラを設置してから、はじめて、データをチェックいたしました。露出が悪く少し対象が光りすぎて見えにくいところがありましたが、ムササビが飛んでいる姿がとらえられています。また、ムササビはヒノキや杉の木の皮をはいで巣材としているのですが、その巣材を運ぶ様子も撮影できていました。また、朝礼等で子どもたちに紹介したいと思います。記録された時刻をみると午前3時ごろの活動が多く、直接子どもたちに観察してもらうことは、難しいようです。

## ☆大谷選手からの贈り物

全国に報道されみなさんご存じの大谷選手からのプレゼント、グローブが届きました。左右のグローブと少し小さめのグローブで3つ、メッセージ付きで届きました。先週の朝礼時にメッセージとともに紹介し、各学級で手に取って見てもらっています。



グローブに触れることで、夢を大きく描き、大谷選手の数々のいいところ、うそをつかない、人の悪口は言わない、ごみを拾うなどなどたくさんある中で、自分自身も行動しようと思うこと実行していってほしいと思います。

授業等でのグローブの活用については、体育でベースボール型の指導が始まる令和6年度の1学期になります。使用してゲームをするのが楽しみです。

## ☆インフルエンザに注意を

インフルエンザがはやってきています。本校も罹患者が増えています。インフルエンザを防止するには、こまめな手洗いやうがいと共に、マスクをする、水分をとる、病原菌をはねのける体力をつけるといったことが重要です。そのためには、規則正しい生活をおくるのが効果的です。

日々の生活を見直し、食事や睡眠をしっかりとって、十分体力をつけておきたいものです。